



ZACROS

# ZACROS

## 株主通信

【第81期 中間のご報告】

2010年4月1日～2010年9月30日

藤森工業株式会社

証券コード：7917



## 新たな価値の創造を 追求してまいります。



代表取締役社長  
藤森 明彦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第81期上期(2010年4月1日から2010年9月30日まで)の決算のご報告にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当社グループは、「包む価値の創造を通じて、快適な社会の実現に貢献する」ことを企業理念としています。この意味するところは、具体的には「素材」に「機能」という「いのち」を与える

数多くの製品、サービスの創造を通じて、人々の暮らしや社会に楽しさや快適さ、安心、夢といった「価値」を提供し続けることだと考えております。

2010年5月21日に、JAXA(宇宙航空研究開発機構)と共同開発し当社が製膜した薄膜ポリイミドを使用した小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」の打ち上げが成功しました。このことは、最先端技術の結晶である宇宙航空分野で、当社が提供する「価値」にさらなる可能性があることをお示した一例であると考えております。

その他、この半年は今後の成長が期待されるヘルスケア分野における新規事業の創出を見据えて三重事業所を着工するなど、中長期的な視点で私たちが提供する「価値」が何であるのかということを再認識し、そして株主の皆様にご提示できた期間であったかと思っております。

今後も、常に新たな「価値」の可能性を追求し、様々な取り組みにチャレンジしてまいります。

次に、上期における当社グループの業績についてご報告いたします。



三重事業所完成イメージ

### 2011年3月期 上期業績の ポイント

- ① 市場の需要動向を的確に捕捉し、売上が伸長
- ② 採算の改善と生産効率の向上により、大幅な増益を達成
- ③ 中間配当は前年同期比3円増額の1株当たり13円

上期における国内経済は、耐久材購入支援策終了に伴う駆け込み需要等により個人消費は回復基調を維持した一方、景気を下支えていた輸出は海外経済の減速を受け伸びが鈍化したことなどから、景気回復の勢いが一段と穏やかなものとなる展開となりました。

このような環境の下、情報電子事業では市場の需要動向を捕捉し総じて堅調に売上を伸ばし、さらにライフサイエンス事業、建材事業においても受注の確保に努めました結果、当社グループの売上は前年同期比で8.4%増加いたしました。

損益面では、売上回復に伴って採算が改善したことに加え、グループ全体にわたり生産効率の向上に引き続き努めたことなどから、前年同期比で増益となりました。

その結果、上期における業績は、売上高392億62百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益25億97百万円(同60.0%増)、経常利益26億39百万円(同60.0%増)、四半期純利益16億35百万円(同59.9%増)となりました。

中間配当につきましては、上期における業績が当初の予想を上回ったことで、通期での業績予想も当初予想を上回る見通しとなることや、配当性向等を総合的に勘案し、前期中間配当金10円に比べ1株につき3円増額、直近の配当予想11円

に比べ2円増額の13円といたしました。また、期末配当につきましては、前期末配当金12円に比べ1株につき1円増額、前回の配当予想11円に比べ2円増額の13円を予定しており、年間配当金は、前期より4円増額の1株当たり26円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の経営方針ならびに経営施策へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

	上期	通期予想
売上高	39,262百万円	78,120百万円
営業利益	2,597百万円	4,480百万円
経常利益	2,639百万円	4,510百万円
四半期(当期)純利益	1,635百万円	2,690百万円
1株当たり配当金	13円	26円 (期末配当予定額13円)

## 上期のZACROSグループの最前線におけるニュースをお届けします。

ライフサイエンス事業

### アジア最大級のパッケージ総合展

### 2010東京国際包装展—TOKYO PACK 2010—に出展しました。

「TOKYO PACK」は、2年に一度開催されるアジア地域最大規模のパッケージの総合展示会です。国内外の包装産業のあらゆる分野から最新の包装材料・包装機械などが出展され、生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、商談や交流および包装の最新情報発信の場として国際的な発展を支えています。今回は2010年10月5日から8日までの日程で開催され、当社は「進化」と「深化」というコンセプトで、さらなる発展をしていく進化の姿勢を時系列的に展示し、一方で、差別化・問題解決の深さを深化として垂直的視点で捉えた展示を行いました。会期中は前回は上回る800人を超える方々が来場されました。



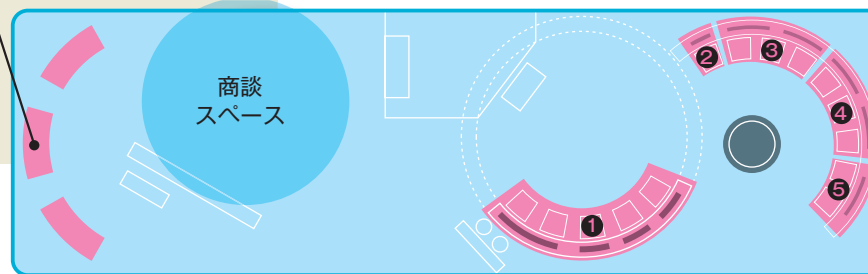
### フジモリ産業(株)

グループ会社のフジモリ産業が、「重ねる・塗る・形作る・環境」のテーマで、独自の製品を展示しました。



### 探索!! 誌上展示会

当社グループの特色ある製品の数々をご紹介します。



### 1 研究所コーナー

研究所コーナーでは、過去の蓄積を踏まえた技術年表およびフィルム表面に凹凸を設け文字や各種形状を立体的に表現することでデザイン性を向上させた「加飾パウチ」、分別廃棄の効率性を高める「単一素材パウチ」、植物由来比率50%のパウチや生分解可能な樹脂を使用した「環境負荷低減製品」などを展示し、当社技術の方向性・可能性を示しました。



技術年表と研究所が手がける製品の展示

### 2 容器コーナー

容器コーナーでは、既存のバッグインボックスを改良した「段ボールレス新Zテナー®」を出展しました。

#### 段ボールレス新Zテナー®

ブローボトル・金属缶よりも軽量で使用後の容器を減容化できることに加え、物流コストの面からも環境負荷の軽減ができます。さらに、ラミネート技術により、印刷や遮光性などの機能性の付加が可能です。



### 5 産業包装コーナー

産業包装コーナーでは、「NI-βフィルム」や「フローバック®シリーズ」など、特に粒業分野で注目を集めている製品を展示しました。

#### NI-βフィルム

食品や薬品に含まれる栄養成分、香料、薬効成分などが包材に吸着されにくく、内容品本来の味、香り、効き目を保持できます。



#### フローバック®シリーズ

ストローにより開封部が閉塞せず内容物がスムーズに流れるため詰め替え作業が簡単で環境にも優しいパウチです。



### 3 食品包装コーナー

特色ある製品のPRとして、「内層印字」、「MES(マルチイージーセーフティー)ノッチ」などを展示しました。

#### 内層印字(レーザー印字)

消えない印字であるだけでなく、視認性や安全衛生性に優れ、食品の日付印字やロット表示に最適です。



#### MESノッチ

レトルトパウチなどの開封口の一種で、けがや破れにつながる切り込みをなくし、使い勝手を向上させました。



### 4 ヘルスケアコーナー

「なめらカット®」、「超高防湿PTP」、「医療用バッグキット製品」を展示しました。

#### なめらカット®

簡単に真っ直ぐなめらかに開封できる包材です。任意の位置に開封機能を付与でき、粉末・液体などのスティック形状だけでなく、幅広い用途に利用が可能です。



#### 超高防湿PTP

錠剤・カプセル剤の包材として高い防湿性を備え、取り出しやすさに優れています。また、透明性が高く製剤名の視認性が向上します。



#### 医療用バッグキット製品

容器の成分溶出や薬液の変質の問題を解決したフィルムを用いた、ガラスに代わるソフトバッグで、割れによる事故や医療廃棄物を減らす効果もあります。



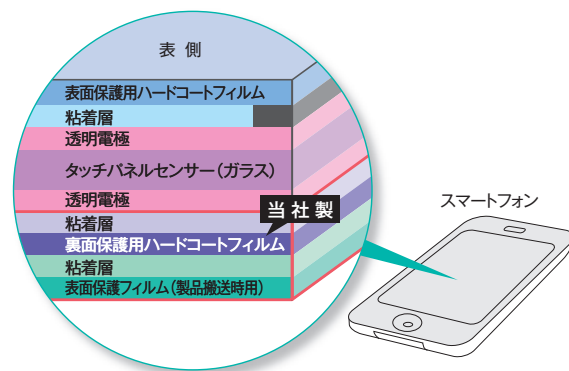
### 情報電子事業

## 02 タッチパネル入力方式の情報端末向けに光学用粘着フィルムの開発を進めています。

「スマートフォン」や「タブレットPC」と呼ばれる、従来のキーボードなどを使わずに手やペンで直接入力できるタッチパネル入力方式の情報端末が世界的な潮流となりつつあります。

これらの製品には、部材としてさまざまな光学用シートが使われていますが、当社は従来からのラミネート技術やコーティング技術に加えて、新しく開発した光学用粘着剤を用いて複合フィルムを生産し、多岐にわたる厳しい要求品質を満たす差別化製品を開発・提供しております。

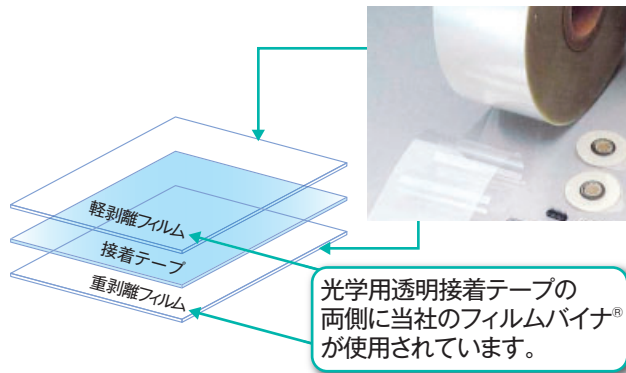
技術革新のめまぐるしい電子部品業界にはクオリティと同時に開発スピードも求められますが、私たちは研究所をはじめ全社を挙げて、顧客満足度の向上に尽力しています。



### 情報電子事業

## 03 当社の剥離フィルムがタッチパネル入力方式情報端末の光学用透明接着テープに採用されています。

タッチパネル入力方式の情報端末を構成する部材の中で鍵となるのが、タッチパネルと液晶パネルを貼り合わせる「光学用透明接着テープ」です。当社の剥離フィルム「フィルムバイナ®」は、世界的なスマートフォンやタブレットPCの光学用透明接着テープに採用されています。これまでの剥離フィルムが持つ「粘着面保護」という単一機能とは一線を画し、光学用透明接着テープに必要なとされる面の均一さや厚みの制御、貼合工程でのスムーズなハンドリングなど、精密かつ多機能な要求にまで応え得る剥離フィルムとして、「フィルムバイナ®」は光学用透明接着テープメーカー各社で高い評価を受けています。



### 建築資材事業

## 04 トンネル用防水シート「FFシート」、業界&当社初のエコマーク取得！

環境に対する意識がますます高まっています。そのような中、トンネル内の漏水を防ぐ「FFシート」の透水性緩衝材である不織布をポリマーリサイクル繊維とすることを見出してエコマーク取得にチャレンジし、約1ヵ月という短い期間で承認を得ることができました。トンネル用防水シートのエコマーク取得は業界初、また、当社初のエコマーク取得製品となりました。



トンネル用防水シート「FFシート」



### 社内の取り組み

## 05 事業本部・研究所に「企画管理担当」を新設しました。

2010年6月・7月の組織改編によって、事業本部および研究所に「企画管理担当」を新設しました。

企画管理担当を新設した大きな目的は、各部署における現場組織が持つべき内部管理能力を向上させることにあります。現在、組織運営に必要なノウハウは多岐にわたり、その量はますます増加しています。一方、内部管理を担うべき担当やその手法が部署によって異なるという現状がありました。そこで企画管理担当を設け、内部管理に関わる窓口を一元化してノウハウの共有化・集積の推進につなげることをしました。

今後は、企画管理担当が自部門の収益力や効率化を阻害する要因やリスクを整理し、その課題に対して具体的な仕組みを提言・構築するなど、各部署の自律的な組織運営の実現を目指してまいります。

### 施設・設備拡充NOW

#### 昭和事業所において、増設工事が進んでいます

2010年9月3日、群馬県利根郡の昭和事業所において、プロテクトフィルム生産用広幅粘着コーター増設工事の安全を祈願し、地鎮祭をとり行いました。

現在、2011年4月の稼働開始に向けて順調に工事が進んでいます。



#### ヘルスケア関連製品の新しい生産拠点「三重事業所」の建設

三重事業所の早期建設のため、2010年5月、日本に1台しかない移動式地質調査車両「ジオエクスプローラー」で地質調査を行いました。敷地内を自走しながらボーリング調査を行うため櫓の建設

の手間がなく、約2万坪の土地も通常の10倍の速さで調査でき、10日間で完了となりました。その後、8月に安全祈願祭、10月には地鎮祭も行い、2011年8月の竣工に向けて工事が始まっています。



# ZACROS vol.01 HISTORY

## 「包む価値」の源流

ZACROSの「包む価値」は、創業とともに製造を開始した「ターポリン紙」から始まります。今回は、現在につながるその源流をご紹介します。※名称は、当時のものを使用しています。

## 「原点」

歴史を紐解くと、当社の原点は大正時代の創業時代に製品化した防水・防湿の「ターポリン紙」に遡ることができます。ターポリン紙は、紙と紙の間にアスファルトをはさみ込んで貼り合わせた加工紙です。

当時、日本の貿易産業を代表する絹を輸出する際、水や湿気から保護するために開発されました。以来、「包むことによって、どのような価値を提供できるか」を問い続ける当社の歩みが始まったのです。



1914(大正3)年に製造開始した防水・防湿紙「ターポリン紙」



1921(大正10)年、「車両用屋根張防水布」が鉄道省に採用。御料列車にも使用されました



## 「展開」

その後、ターポリン紙を改良して「車両用屋根張防水布」を開発するなど、様々な防水・防湿のニーズに応えていきました。太平洋戦争後は、食糧不足解消のために化学肥料が増産されるのに合わせて「防湿多層袋」の量産を行ったり、朝鮮戦争におけるアメリカ軍向けの「砲弾用コンテナ」の需要に対応するなど、多様なニーズに応える製品展開を行っていきました。



1947(昭和22)年、「防湿多層袋」の量産開始



1952(昭和27)年、「砲弾用コンテナ」の量産開始



1949(昭和24)年、「バリヤメタルフォイル」を開発  
1951(昭和26)年に、通産省・東京都主催の  
輸出包装展で優秀賞を受賞

## 「進化」

また、ターポリン紙にアルミ箔を貼った「バリヤメタルフォイル」を進駐軍向けの機械部品包装用途として開発したり、防錆包装材料「ナイトラ」を開発するなど、特殊加工紙の開発で成果を挙げていきました。

さらに、花王石鹼(株)と共同で、アルミ箔を表面にしてグラビア印刷を施した「フェザーシャンプー用包材」を開発しました。店頭でピカピカと光るフェザーシャンプーは商品訴求力が高く、ヒット商品となりましたが、当社にとっても今日の軽包装へ取り組むきっかけとなりました。



1953(昭和28)年、  
防錆包装材料「ナイトラ」を開発  
(写真は「ナイトラ」に包まれたミシン針)



1955(昭和30)年、  
「フェザーシャンプー用包材」を開発

## 「飛躍」

その後、日本の高度経済成長、情報化社会の進展などに合わせ、当社は新製品・新技術の展開や、包装だけにとどまらず、建材・容器・機能材料分野へと進出を果たすなど、飛躍・成長を続けてまいりました。

しかしながら、「素材」に「機能」という“いのち”を与える数多くの製品、サービスの創造を通じて、人々の暮らしや社会に楽しさや快適さ、安心、夢という「価値」を提供し続けるために、お客様や市場と真摯に向きあい、常にバイオニア精神をもって製品開発にチャレンジするというZACROSの遺伝子は、変わらず受け継がれています。



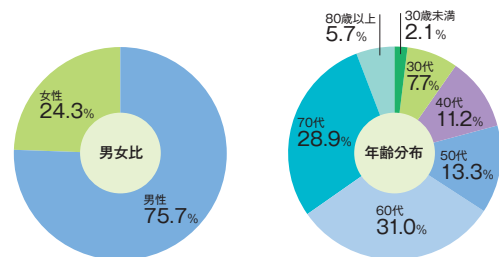
## next issue

今回は、ポリエチレンを素材とした様々な製品の開発についてご紹介いたします。

# アンケート結果のご報告

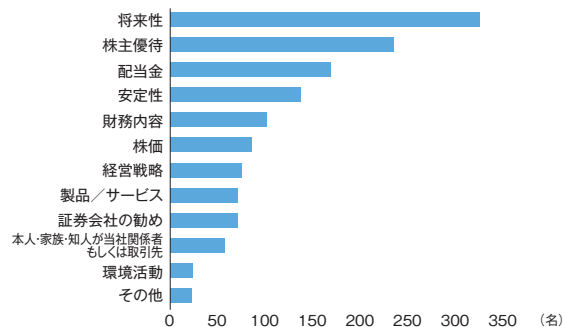
## Questionnaire Result

当社では株主の皆様が私たちに何を期待し、どのようなことを希望されているのかを知るため、4,425名(2010年3月31日現在)の株主の皆様を対象にアンケート調査を実施いたしました。本調査では、全株主数の14.2%にあたる627名の方々からご回答をいただきましたので、ご報告させていただきます。



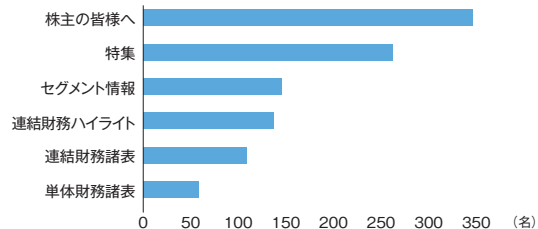
### Q 当社の株式を購入された理由をお聞かせください (複数回答可)

A 325名の方に「将来性」を挙げていただきました。これも、当社が市場の変化に迅速に対応し、将来の軸となる新製品、他社には真似のできない技術の創出に取り組んできたことへの評価と捉え、引き続き適進してまいります。



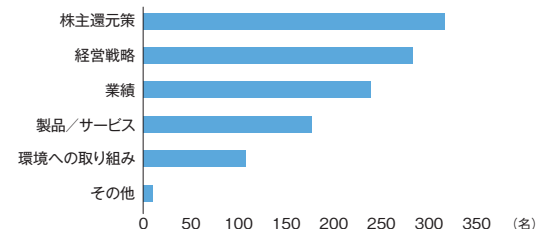
### Q 株主通信の中で興味を持たれた内容は何ですか (複数回答可)

A 「株主の皆様へ」と「特集」が上位を占めました。現在の当社の取り組みをご説明している点にご支持をいただいているものと考えております。特にソーラーセイル「IKAROS」についてのご質問が多かったことから、次ページにてご説明いたします。



### Q 今後どのような情報の充実を希望されますか (複数回答可)

A 「株主還元策」「経営戦略」「業績」「製品/サービス」に関する情報へのご要望を多くいただきました。「株主還元策」「経営戦略」「業績」については、引き続き社長からのメッセージや財務諸表を通じて情報を発信してまいります。また、今回からは当社の「製品/サービス」をより深くご理解いただくため、その歴史を連載いたします。「ZACROS HISTORY」を是非ご覧ください。

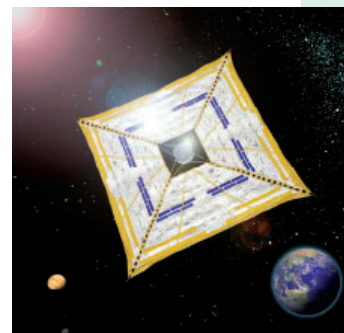


## ■ ご質問にお答えします

### Q1 第80期株主通信に掲載されていた小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」について詳しく教えてください

A 2010年5月21日、H-IIAロケット17号機で「あかつき」とともに打ち上げられたIKAROSは、ソーラーセイル(太陽帆)に太陽光圧を受けて進む観測衛星で、世界初の実証実験を行っています。

非常に微弱な太陽光圧を効率良く利用してIKAROSが進んでいくためには、大きくて軽い帆が必要です。そこで、帆の軽量化のために、素材の貼り合わせには接着剤を使わず、熱で貼れるよう改良したポリイミドを用いています。このプロジェクトで当社は、特殊ポリイミド樹脂を非常に薄く製膜したほか、薄膜太陽電池に保護膜を接着するなどセイルに組み込める形に貼り合わせる工程を担当しました。JAXAとともに当社も、NHK等のマスコミに多数取り上げられ、多くの反響をいただいています。



小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」イメージ©JAXA

打ち上げ後IKAROSは、最大の課題、14m角のセイルを宇宙空間で展開する(ヨットが帆を張るように広げる)ことに成功し、その後も太陽光圧をセイルで受ける姿勢や軌道の制御、加速のテストなど、順調に進んでいます。今回の実証機が成功すれば、次は木星探査機への実用化が検討されています。

### Q2 グループ全体での内部統制やコンプライアンス(法令遵守)の取り組みはどうなっていますか

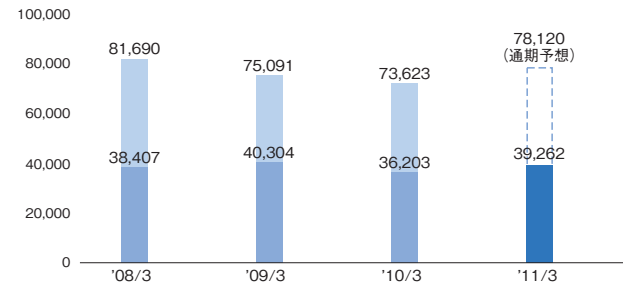
A 当社は、連結経営のもとにおいてはグループ全体の業務の適正を保持することが大切であると考え、関係会社における業務体制の確認、チェック、指導を行っています。特にコンプライアンスについては、当社社長を委員長とし、グループ会社社長もメンバーに含めたコンプライアンス・リスク管理委員会を組織し、グループ全体のコンプライアンス体制を構築しています。

# 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

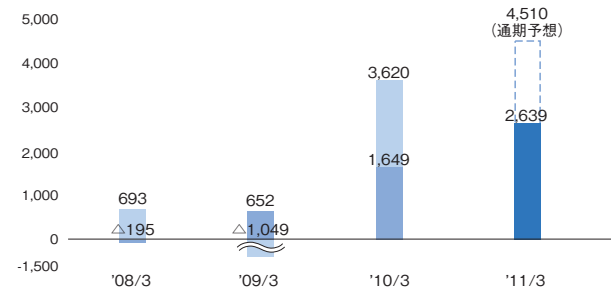
売上高(百万円)

39,262百万円 前年同期比8.4%

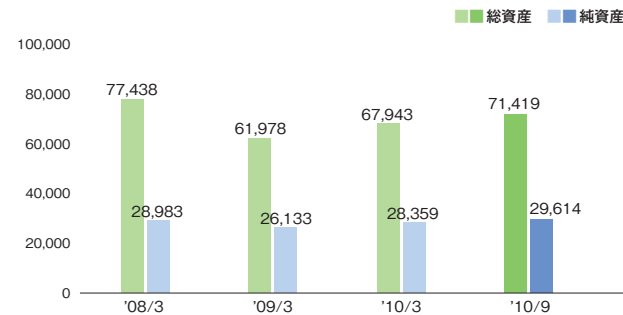


経常利益または損失(△)(百万円)

2,639百万円 前年同期比60.0%

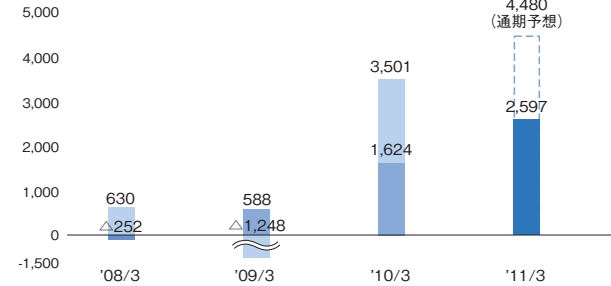


総資産・純資産(百万円)



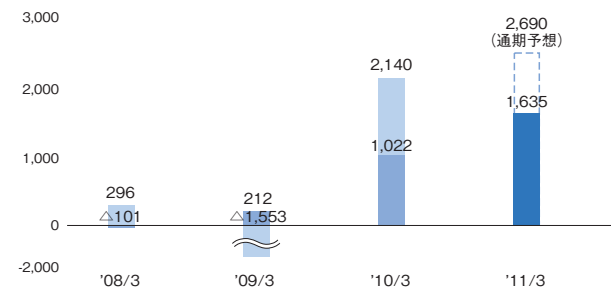
営業利益または損失(△)(百万円)

2,597百万円 前年同期比60.0%

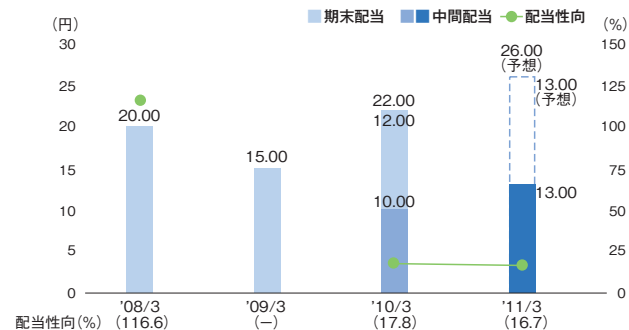


四半期(当期)純利益または損失(△)(百万円)

1,635百万円 前年同期比59.9%



配当金と配当性向(円/%)



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	40,429	36,079
固定資産	30,990	31,864
有形固定資産	27,559	27,928
無形固定資産	200	281
投資その他の資産	3,229	3,653
<b>資産合計</b>	<b>71,419</b>	<b>67,943</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,420	22,063
固定負債	13,384	17,520
<b>負債合計</b>	<b>41,804</b>	<b>39,584</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,748	27,321
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	5,778	5,778
利益剰余金	18,257	16,830
自己株式	△10	△10
評価・換算差額等	231	414
新株予約権	10	-
少数株主持分	623	623
<b>純資産合計</b>	<b>29,614</b>	<b>28,359</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>71,419</b>	<b>67,943</b>

## Point.1 総資産について

総資産は、前期末に比べ34億75百万円増加して714億19百万円となりました。これは、時価下降等による投資有価証券の評価額減少や減価償却により有形固定資産が減少したことなどに伴い、固定資産が減少したものの、有価証券、売上債権、当座預金等の流動資産が増加したことなどによるものです。

## Point.2 純資産について

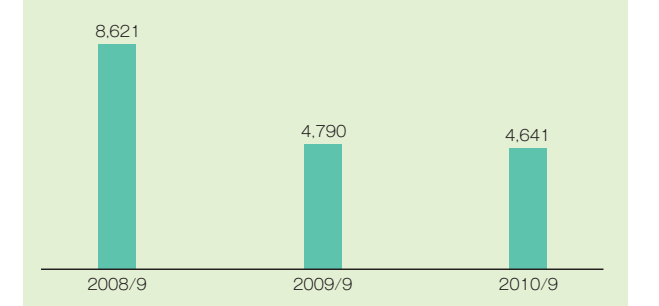
純資産は、少数株主持分6億23百万円を含めて296億14百万円となりました。自己資本比率は前期末の40.8%から40.6%となりました。

## 財務トピックス

たな卸資産がさらに減少しました。グループを挙げて取り組んでいる、長期滞在在庫の削減ならびに在庫を適正水準に保つ意識付けが現場に浸透した結果、たな卸資産が順調に減少し、2008/9～2009/9に44%の削減を実現しました。さらに2009/9～2010/9においても3%(約1億5千万円)の削減を達成しています。

## たな卸資産の推移

(単位:百万円)



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## ■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	前第2四半期累計 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日
売上高	39,262	36,203
売上原価	31,426	29,719
売上総利益	7,836	6,484
販売費及び一般管理費	5,238	4,859
営業利益	2,597	1,624
営業外収益	228	225
営業外費用	186	200
経常利益	2,639	1,649
特別利益	2	113
特別損失	126	64
税金等調整前四半期純利益	2,515	1,698
法人税、住民税及び事業税	1,048	74
法人税等調整額	△182	577
少数株主損益調整前四半期純利益	1,649	—
少数株主利益	14	23
<b>四半期純利益</b>	<b>1,635</b>	<b>1,022</b>

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

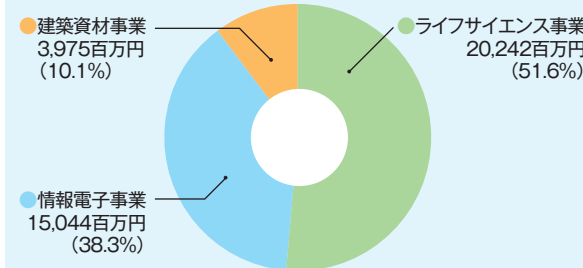
(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	前第2四半期累計 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,686	2,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△900	△1,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306	△727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	13
現金及び現金同等物の増加額	2,469	680
現金及び現金同等物の期首残高	6,009	2,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,478	2,687

## Point.3 四半期純利益について

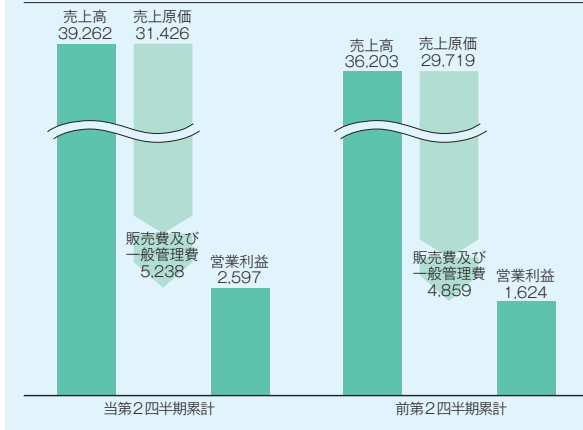
売上回復に伴い採算が改善したことに加え、グループ全体にわたり生産効率の向上に引き続き努めたことなどから、四半期純利益は前年同期比59.9%増となる16億35百万円となりました。

### セグメント別売上高の内訳



### 損益の概要

(単位:百万円)



## Point.4 営業活動によるキャッシュ・フローについて

営業活動の結果、得た資金は36億86百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の確保25億15百万円や減価償却費20億41百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

# 会社概要 / 株式の状況

(2010年9月30日)

Corporate Data / Stock Information

## ■ 会社概要

社名 藤森工業株式会社  
FUJIMORI KOGYO CO.,LTD.  
創立 1914年(大正3年)4月1日  
創設 1936年(昭和11年)11月4日  
資本金 47億23百万円  
従業員 982名(連結1,526名)

(注) いずれも2010年9月末の正社員在籍人員で、決算資料人数とは必ずしも一致しません。

## 役員一覧

代表取締役社長 藤森明彦  
代表取締役副社長 藤森伸彦  
専務取締役 野竹康夫  
常務取締役 飯島崇彦  
取締役 藤森行彦  
取締役 吉野彰志郎  
常勤監査役 金谷喜久次  
監査役 上住元彦  
監査役 竹下直慶  
監査役 井口一二三

(注) 監査役上住元彦および竹下直慶の両氏は、社外監査役です。

## 当社グループ

### [連結子会社]

- ・フジモリ産業株式会社
- ・フジモリプラケミカル株式会社
- ・まつやゼロファン株式会社
- ・THAI FPC CO., LTD.

### [非連結子会社]

- ・MFPC SDN. BHD.
- ・アデコ株式会社
- ・ZACROS(HONG KONG) CO., LTD.

### [関連会社]

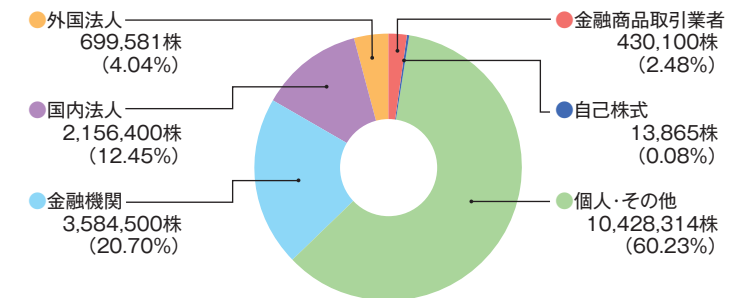
- ・THAI FUJIMORI TRADING CO., LTD.\*

\* 在外関連会社 THAI FUJIMORI TRADING CO., LTD.は、2010年1月14日付をもって解散の決議をしており、2010年度中に清算を完了する予定です。

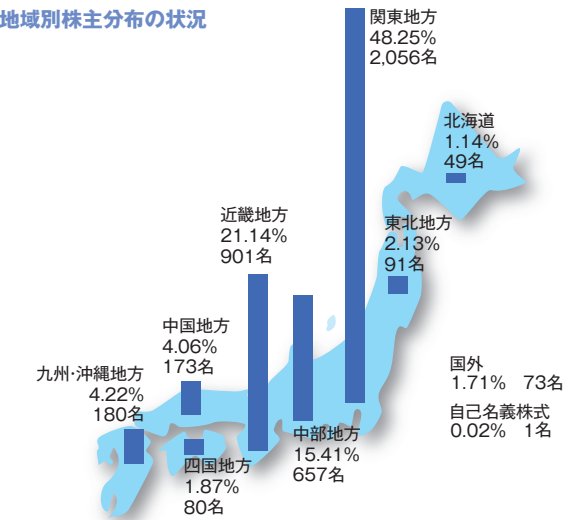
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 .....45,000,000株  
発行済株式総数 .....17,312,760株  
(自己株式13,865株を含む)  
株主数 .....4,261名

## 所有者別株式分布の状況



## 地域別株主分布の状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 証券代行事務センター 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### ● 株式に関する諸手続について

- (1) 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。  
・フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)  
・インターネット/ホームページアドレス  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)
- (2) 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 株主優待制度のご案内

当社では、3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の皆様へ優待品を贈呈しております。贈呈時期は6月です。



「ビゼットちゃん」は2004年、当社創立90周年を記念して社内公募で選ばれた当社マスコットキャラクターです。

### ● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 当社の詳細なIR情報は、 ホームページをご覧ください。



藤森工業のホームページの「IR情報」では過去の株主通信や決算短信などの情報を見ることができます。また当社製品の情報や企業情報、研究開発や環境への取り組みなどもご覧いただけます。

IR情報  
トップページ <http://www.zacros.co.jp/ir/>

## 藤森工業株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿一丁目23番7号 TEL.03-6381-4211 (代表)

